

津山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	PBL型産学連携実習	
科目基礎情報							
科目番号	0156			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	実習			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	総合理工学科(電気電子システム系)			対象学年	5		
開設期	通年			週時間数	1		
教科書/教材	なし						
担当教員	稲田 知己						
到達目標							
学習目的：地域企業との産学連携によって、地域の具体的諸問題の解決を図る。 到達目標：地域企業と連携することによって地域社会の抱える諸問題について多面的に理解し、その問題解決に向けて主体的に貢献する自覚と素養を培う。							
ルーブリック							
	優	良	可	不可			
評価項目1	十分に授業に参加すること	2/3以上の授業に参加すること	2/3以上の授業に参加すること	10時間をこえて欠席すること			
評価項目2	指示に十分に合ったレポートを提出すること	指示にある程度従ったレポートを提出すること	指示に最低限したがったレポートを提出すること	指示に従ったレポートを提出しないこと			
評価項目3	なし	なし	なし	なし			
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	一般・専門の別：専門 必修・履修・履修選択・選択の別：履修選択 基礎となる学問分野：理工学全般 学科学習目標との関連：本科目は学習教育目標「④分野横断的な融合力の育成」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(H)地域との連携による総合能力の展開」「H-1:地域社会との連携した学習や研究などの協働活動をとおして、専門分野を理解し、説明できること」である。 授業の概要：この授業においては、地域社会の抱える具体的問題を個別具体的にとりあげ、その工学応用的解決をめざす。						
授業の進め方・方法	授業の方法：基本的には演習形式によって進める。 成績評価方法： 原則として2回の試験または口頭報告で評価する（50%×2）						
注意点	履修上の注意：本講義では、授業時間外における学生自身による準備が必要となることに留意されたい。また本科目は「授業時間外の学習を必修とする科目」である。1単位あたり授業時間として15単位時間開講するが、これ以外に30単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。 履修のアドバイス：カリキュラムにおいて設定されている時間数に比するなら、学習内容は膨大である。授業において、すべてを網羅することは不可能なので、図書館の利用などによる主体的学習が望まれる。 基礎科目：理工学全般 関連科目：地域イノベーション推進プログラムの諸科目 受講上のアドバイス：遅刻に対するペナルティは特にもうけないが、受講者の良識を期待する。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	・今年度は開講しません				
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週	・今年度は開講しません				
		2週					
		3週					

		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	100	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0